

まず行動する

→ 共に考え行動する

→ 力をまとめる

→ **確かめ合う**

1 【 日常の授業に生きる研修内容の立案と確認 】

先生方に研修を通して、  
日常の授業の中でも力  
をつけてほしい。

職員同士で見合う参観授  
業を多く取り入れている。  
また、参観授業計画を年間  
行事計画の中に取り入れ、  
必ず実施できるようにして  
いる。

先生方に年間を通し  
て、研修を意識して  
もらいたい。

年間を通して、一人一課題  
で、授業改善に取り組んで  
もらっている。参観授業等も実  
施し、報告書を作成してもら  
い、全職員に紹介している。

保護者や地域の方に  
も研修に関する意見  
をもらいたい。

校内研修の内容を便り  
や掲示物等で保護者や地  
域の方に伝え、研修に関す  
る助言をもらうようにして  
いる。また、授業や授業検  
討会にも参加してもらい、  
評価してもらうようにして  
いる。

研修内容が日常の授業の中に生きるように、立案したり認め合ったりしている。

2 【 内部・外部評価を取り入れた研修体制づくり 】

切磋琢磨できる  
教師集団であり  
たい。

職員同士で見合う授業を多  
く計画し、小グループ内(学年  
や部会等)で気軽に意見交流  
しながら改善を行える体制を  
つくっている。

校長先生や教頭先生か  
らできるだけ多くの助言  
をいただきたい。

できるだけ多く管理職に授  
業を参観してもらい、校内研  
修を絡めた検討・助言をいた  
だけの体制をつくっている。

学校評価を最大限  
に生かし、実践した  
い。

児童・生徒や保護者、地域  
の方からの学校評価を生か  
し、改善するための具体的  
な方策を明示してもらい、実  
践できるよう計画している。

内部や外部から評価をしてもらい、具体的な方策をもって、改善できるように計画している。